

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成28年11月28日 NO.72 (372)

モンタ博士「<sup>てんらんかい</sup>展覧会よかったね。すばらしかったですね。」

フッタ博士「そうですね。<sup>ななしょう</sup>七小のみなさんが、<sup>ちから</sup>力を<sup>あ</sup>合わせ作り出したすてきな会でした  
ね。ところで、<sup>あき</sup>秋も<sup>ふか</sup>深まり、<sup>こうてい</sup>校庭の<sup>きぎ</sup>樹々が<sup>いろ</sup>色づいてきましたね。」

モンタ博士「きれいでしょう。<sup>こんど</sup>今度は『<sup>お</sup>落ち<sup>いろ</sup>葉の色の<sup>てんらんかい</sup>展覧会』ですよ。モミジは<sup>あか</sup>赤く、  
イチヨウは<sup>きいろ</sup>黄色、サクラは<sup>あか</sup>赤や<sup>きいろ</sup>黄色・<sup>いろ</sup>オレンジになりましたね。」(色づいた葉の絵や実物を見せる)

フッタ博士「ところで、モンタ博士、どうして<sup>は</sup>葉っぱは<sup>いろ</sup>色づくのですか。」

モンタ博士「それはね、むずかしくいうと、それまで<sup>みどりいろ</sup>緑色をしていた<sup>は</sup>葉のクロロフィルが  
なくなってしまう、その代わりに<sup>あか</sup>赤くなる<sup>は</sup>葉には<sup>あか</sup>アントシアンが、<sup>きいろ</sup>黄色くな  
る<sup>は</sup>葉には、<sup>しきそ</sup>カロテノイドという<sup>あらわ</sup>色素が<sup>あらわ</sup>現れるということなんだよ。」

フッタ博士「ふーん。それじゃ、どうしてそんな<sup>いろ</sup>色が出てくるんでしょう？」

モンタ博士「それはね、<sup>ふゆ</sup>冬が<sup>ちか</sup>近づくと、<sup>ね</sup>根が<sup>みず</sup>水をすいあげようとしなくなるし、それに、  
<sup>は</sup>葉っぱをつけておくと、<sup>は</sup>葉っぱから<sup>すいぶん</sup>水分が<sup>すいぶん</sup>どんどんなくなってしまうんだ。  
それで、<sup>き</sup>木は<sup>じぶん</sup>自分のいのちを守るために、<sup>は</sup>葉っぱを<sup>お</sup>落とすのさ。」

フッタ博士「へえー。つまり、<sup>は</sup>かんたんにいうと、<sup>は</sup>葉っぱを<sup>お</sup>落とすまえに、<sup>は</sup>葉っぱにある  
<sup>ようぶん</sup>養分が<sup>へんか</sup>変化したものということですね。」

モンタ博士「そうそう。そのとおり。そのとおりさ。」

フッタ博士「ちょっと<sup>しょうがくせい</sup>小学生にはむずかしかったですね。それより、<sup>いま</sup>今からみんなで  
<sup>お</sup>落ち<sup>あそ</sup>葉で遊びましょう。イチヨウの<sup>は</sup>葉っぱを<sup>つか</sup>使って、<sup>つく</sup>あれを作ります。」

モンタ博士「あれとは、なんですか。ひょっとしてあれですか。」

フッタ博士「そのとおり。あれです。つまり『<sup>あかしろ</sup>赤白の<sup>で</sup>ボールから<sup>でんき</sup>出てくる電気<sup>ねずみ</sup>ネズミ』。」

モンタ博士「<sup>ほんとう</sup>本当にできるのですか。すぐ<sup>つく</sup>作り<sup>つく</sup>たいですね。どうやって<sup>つく</sup>作るのですか。」

フッタ博士「まず、<sup>ようい</sup>用意するものは、イチヨウの<sup>は</sup>葉っぱ(先が<sup>さき</sup>われているのは<sup>だめ</sup>だめ)、<sup>ゆせい</sup>油性  
<sup>あか</sup>サインペンの<sup>くろ</sup>赤と<sup>くろ</sup>黒、<sup>えんぴつ</sup>はさみと<sup>えんぴつ</sup>とがった鉛筆、まあ、そんなところかな。」

・・・ということで、11月28日<sup>がつ にち せんこうちょうかい</sup>の全校朝会では、こんなお話<sup>はなし</sup>がありました。なお、紅葉<sup>こうよう しく</sup>の仕組みなどについては、平成25年<sup>へいせい ねん</sup>の『国立てくてくNO.61と62』<sup>くにたち</sup>を見るとよくわかります。1・2・3年生<sup>ねんせい</sup>はもってない<sup>おも</sup>と思います。学校HP<sup>がっこうホームページ</sup>で見てください。

### 『赤白のボールから出てくる電気ネズミ』の作り方

